

黄のインターネットに殴り込み

魁!

Vポータル 企画道場

「自分育てゲーム」の利用者がまったく増えない、この現実が大きな黒い雲となり、Vポータル企画道場に覆いかぶさる8月。重苦しい雰囲気の中、湯浅将軍が言葉を搾り出す。「皆の者、こうなったら“抜本的改革”に乗り出すしかないぞよ。」「バッポンテキ」。そう、コンテンツが受けなければ、内容に磨きをかけて進化をさせていく。これこそが、我らの目指してきたコンテンツ作りではないか！ まだまだこれからじゃ。本気なのか、カラ元気なのか、それはここにいる戦士たちにもわからない。しかし、確かなのは「バッポンテキ！」という声がかまできて、道場に明るさが戻ってきたということだ。これは、時代の荒波にもまれながらも、見事Vポータルのコンテンツを作り出した男たちの、汗と涙の物語である。

構成：編集部 illust.:金子ナンペイ

倉園六段。当道場の経営者にして、師範。日々、ウケる“コンテンツ”を考え続けて数十年。ちなみに某インターネット誌の編集長も務めるとの噂がある。

湯浅将軍。NTTコミュニケーションズ流Vポータル道場所属の戦士。“声のインターネット”を普及させるべく東へ西へ奔走する日々を送る。

第四房

タイトルとガイダンス 音声を変えるべし

謎の助っ人武富。コンテンツ屋に勤めていること以外すべてが謎に包まれた人物。Vポータルに詳しく、独自のネットワークで道場をサポートする。

新婚村田。湯浅将軍の同僚にして新婚。友達思いの彼は、ハネムーン先に新婚を残してまで、Vポータル企画道場に馳せ参じている。

訓練生たち。当道場の見習いにして編集者。右から守銭奴別井、病弱山本、マヌケの河内。彼らは虎視眈々と道場主の座を狙っている。

技術部荒井。NTTコミュニケーションズ流技術部。当道場の頭脳。頼れる兄貴としてみんなに慕われているが、ギャグはいまいちウケが悪い。

このページではアクセス番号を☎で表します。☎マークが出てきたら0570-0033-03に電話をかけ、その後の言葉をVポータルのスタートメニューで叫ぶべし!

ガイドンスを変えてみる

倉園六段(以下、倉) しかし、本当にコール数が増えんなあ。コール数を記録するシステムが故障しているのではないかな?

新婚村田(以下、村) うむ。いいアイデアがひらめいたぞ。我々全員が日時を決めて、いっせいに「自分育てゲーム」に電話をしてみようぞ。そうすれば、その日だけコール数が上がるはずじゃ。もし、上がってなければ、システムの故障だと判明するわけじゃ。わかりやすいであろう。

技術部荒井(以下、荒) では、今すぐにも始めようぞ。0570-0033-03に電話をかけてっと。「じぶんそだてーげーむ」……。

病弱山本(以下、山) おお、僕もかけますよ。「じぶんそだてーげーむ」。

守銭奴別井(以下、別) 皆もかけたな。それでは、コール数を調べてみようぞ。

マヌケ河内(以下、河) コール数は右のようになっていきますな……。我々がいっせいに電話をかけた7月30日と、31日は……。上がっておる。それまで10程度だったものが、倍増しているではないか。残念ながらシステムの故障ではないようだな。

倉 うーむ、故障でないとなると、やはり早急にコンテンツの抜本的改革を行って、コール数をあげていかねば、我々の立場がないぞ。先月も言ったがイラストの追加はすぐにもできる対処法じゃ。くまのプーさんにも負けないようなカワイイイラストが必要じゃぞ。辺りを見回してみい。いまや世間はプーさん一色じゃ。

湯浅將軍(以下、湯) 忘れていたが、わしの携帯ストラップもプーさんじゃた。恐るべし、プーさん。先月女子高生が言っていた「プーさんの待ち受け画面がもらえるんだったらやるかも」というコメントはまさに正論だったことになるな。

河 まあ、その件に関しては任せてください。プーさんも真っ青なイラストが描ける人を探してみますです!

助っ人武蔵(以下、武) ああ、心配じゃ。ああ、心配じゃ! オヌシのつれてくるイラストレーターは信用ならんからのあ。

河 失敬な! いまのイラストもなかなかいいものではないか。

武 おかげでコール数はこの有様じゃぞ。

倉 イラストだけが悪いのではない。だからこそイラストは取り替えるのではなく、カワイイものを追加する形にしていくのじゃ。

荒 その通りじゃ。ワシはこのガイドンス音声にも問題があると思うぞ。収録していたときはノリノリだったのだが、実際、携帯電話で聞いてみると、少し聞きにくくなっているの、やる気をそいでしまうかもしれん。携帯電話で聞くとうなるのか、そこまで意識して録音すべきじゃったな。

倉 そうなのじゃ。ワシの弟子の女性に、ために「自分育てゲーム」をやらせてみた。そうしたら、「なにこれ! チョーむかつく!」と言って速攻で電話を切りよった。

村 最初の「はいはい、自分育てゲームですー」という音声でいきなりやる気をそがれる感があるな。しかし、また大阪から先のガイドンス音声を吹き込んでくれた武本君を呼び出すことはできるのか?

荒 近くに大阪出身のスーパーエンターテイナーがいることをお忘れではないか?

山 おお、技術部荒井殿はバリバリの大阪出身でありましたな。

荒 そのとおり。武本君には悪いが、ここはワシが気さくな大阪のオッサン役を買って出よう。再び録音して音声ガイドンスにしておくので、読者の諸君は0570-0033-03に電話、「じぶんそだてーげーむ」と言って、ワシのすばらしい声を聞いてみしてくれ。



カウンター故障ではないようです……

7月31日(水)

端末種別	時間帯種別	発着信数	総通話時間
一般電話	昼間	1	0:19
一般電話	深夜・早朝	1	1:42
携帯電話	昼間	6	8:20
携帯電話	夜間	13	15:38
携帯電話	深夜・早朝	5	6:49
合計		26	32:48

7月30日(火)

端末種別	時間帯種別	発着信数	総通話時間
一般電話	昼間	3	3:40
一般電話	夜間	1	1:30
携帯電話	昼間	5	7:31
携帯電話	夜間	5	5:35
携帯電話	深夜・早朝	8	12:24
合計		22	30:40

7月29日(月)

端末種別	時間帯種別	発着信数	総通話時間
一般電話	夜間	2	3:36
携帯電話	昼間	5	7:51
携帯電話	夜間	2	2:25
携帯電話	深夜・早朝	1	1:39
合計		10	15:31

企画道場のみんなが電話をかけなかった7月29日のコール数は10。みんながいっせいに電話をした30日、31日はコール数が20を越えている。やはりシステムは故障していなかったのじゃな。ちなみに、8月に入ってからは少しずつコール数が増え、さらに一般電話からのコールも少なくなってきた。これは「自分育てゲーム」が携帯電話で遊ぶものだと認知されてきた証拠ではないだろうか?





タイトルを再考せよ!

村 そのほかに、コンテンツのタイトルが「自分育てゲーム」でいいのかどうかも議論したいところじゃ。一般の人が自分を育てるゲームと聞いて、具体的なイメージが湧くと思うか? ワシは湧かんとするぞ。

倉 つまり新婚殿はもっとわかりやすいコンテンツの特徴をタイトルに謳ったほうがいいと言いたいじゃな。

村 そのとおりじゃ。

別 このコンテンツの最大のウリは、やはり自分の気持ちが反映された待ち受け画面が手に入るというところではないであろうか? となると「携帯の待ち受け画面がゲットできる」コンテンツなのだということをストレートに表したタイトルにするのがベストではなからうか?

山 たとえば「待ち受け画面ゲットゲーム」とかですかね。

河 それでは、「キモ」である吹き込んだ言葉で待ち受け画面が変わっていくという特徴が表せんではないか!

山 よいではないか。いまどきの女子高生は、自分オリジナルの待ち受け画面がゲットできるとなるとホイホイ電話をかけてくると思わんか?

武 おお、病弱殿、その「自分オリジナルの待ち受け画面」という発想はおもしろいのお。「世界でひとつの」、「あなたのオリジナル」といったフレーズを前面に出したところじゃ。

村 タイトルについて盛り上がっているところ申し訳ないのじゃが、実はすでに対外的には「自分育てゲーム」というタイトルで世に出している。たとえば、大きなイベントなどで配られている、Vポータルのフ

ライヤーじゃ。これはすでにOCN会員にも配って、「自分育てゲーム」としても大きな広告ツールになっておるはずなのじゃが……。ここにも「自分育てゲーム」という名前でコンテンツ名とこのコンテンツの概要が掲載されているな。詳しくは下を見てくれ。実際にこれと同じものが街で配られているので、読者は手に取ってみたいか?

倉 確かに、このフライヤーに載っている言葉では、「自分育てゲーム」で何ができるのか、どのようなゲームなのかが伝わっ

てこない。よし、課題がわかったぞ。まず、このコンテンツを利用することでどのようなことができるのかがハッキリわかるようなタイトルにするのじゃ。そして、そのタイトルが大量に配られているVポータルのフライヤーに載る。ジャンジャン電話がかかってくる。ハハハ、考えてみれば簡単なことよ。よし、皆の衆、このタイトル案を次回の会合までに考えてきてくれ。オヌシらの考えるタイトルに、このコンテンツの将来がかかっているぞ、気合を入れるように!

一同 押忍!



実際に、手に取ってみてくれ

The screenshot shows the V Portal website interface. At the top, it says '声のインターネット Vポータル'. A large banner on the left reads 'SAY & GET! 楽しい情報は、声でキャッチ。' (Say & Get! Fun information is caught by voice). Below the banner, there are buttons for 'ケタイ OK!' (Keitai OK!), '通話料のみ' (Only call charges), '情報料 無料' (Information fee free), and '申込み 不要' (No application needed). A vertical counter shows '0570' and '0033'. The main content area lists various services like '隠れ家ごはん', 'Hanako-NetのCafeさかし', 'ゲーム' (Tel Me☆ジューモ〜ン!), and '占い' (Fortune-telling, 陰陽師占い, etc.).

これが、OCN会員に配られているVポータルのフライヤーじゃ。コンピュータの展示会などのイベントでも配られているので実際に手に取って見てくれ。「自分育てゲーム」については、人気コンテンツ「70万倍速人・麗子」の下に書いてあるぞ。





守銭奴別井と病弱山本のVポータル企画道場アネックス

別 おいおい、ついにタイトルを変えると
言いはじめたぞ。

山 悪あがきですな。やっぱり、企画が根
本からまずかったのですよ、フフフ。

別 お前も言うようになったのお。しか
し、そうなるここでは「自分育てゲーム」
をカスタマイズするのではなく、いちから
新しいコンテンツを作らねばならんぞ。

山 フフフ。実はいいモノが入ったん
ですよ。誰でも、比較的簡単にVポータル
コンテンツが作れる「Vポータルエディタ
ー」略して「VPE」!

別 なんじゃ、そのVPEというのは?

山 Vポータル企画道場の1回目、2回目
をおぼえていますか? 「コールフロー」と

呼ばれる、音声ガイダンスの流れを作りま
したな。VPEは、これが誰でも簡単に作
れて、なおかつその「コールフロー」を自動
的に、Vポータルの記述言語であるVXML
にしてしまうモノなのです。

別 ということは、そのVPEを使えばワシ
らだけでも簡単に新しいコンテンツが作れ
て、すぐに公開できるのじゃな。そうとわ
かったら早速VPEを使ってみようぞ。で、
どうすれば、VPEは使えるのじゃ?

山 まずVポータルのサイトにアクセスし
て、VPEの利用申し込みをします。これ
によってIDをもらい、VPEにアクセスで
きるようになります。詳しくは下に書いて
あるのでご参照あれ。基本的にはブラウ

ザーで使うことになり、必要事項を入力し
ていけばいつの間にかコンテンツができ
ているという仕組みですな。ホームページ
からマニュアルがダウンロードできますよ。

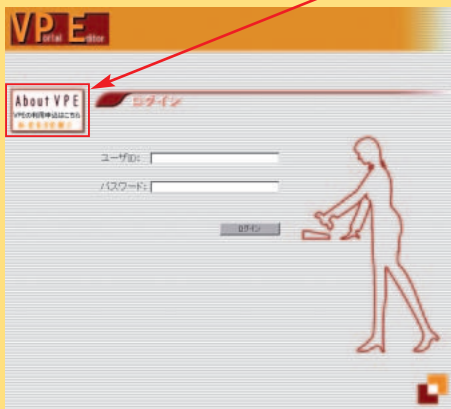
別 よっしゃ、ダウンロードじゃ! って、
100ページもあるのか、このマニュアルは。
山 いろいろな使い方が想定されていま
すからな。で、100ページも読んでらんね
えという人のために、次回からアネックス
でVPEの使い方講座をはじめます。

別 コラ! 俺の道場の方針を勝手に決
めるな! まず、お前の仕事はプリントア
ウトしたマニュアルのホッチキス止めじゃ。

山 いや、僕はホッチキスアレルギーで、
ホッチキスを使うと咳が.....、ゴホ。



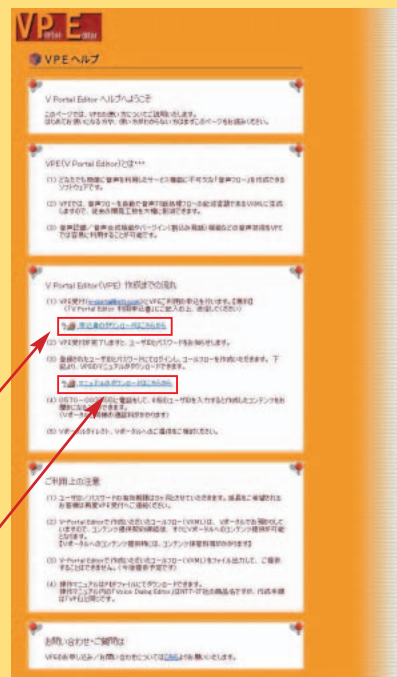
STEP1 Vポータルのホームページへアクセスして、
イラストの下にある「VPE」のロゴをクリック!
www.v-portal.ocn.ne.jp



STEP2 「VPE」へのログイン画面が表示されたら、左上
にある「About VPE VEPの利用申込はこちら」のロゴ
をクリック!

「VPE」ヘルプの画面が表示されたら、そのページの中
程にある「申込書のダウンロードはこちら」をクリック。
ダウンロードされた申込書に必要事項を記入して、
v-portal@ntt.comに送信すれば、ユーザーIDと、パスワ
ードがメールで送られてくる。

ログイン画面に戻り、ユーザーIDとパスワードを入力すれ
ばVPEが使えるようになる。使い方がわからないときは、
まずVPEヘルプの画面から「マニュアルのダウンロード」
をクリックして、マニュアルを手に入れよう。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp